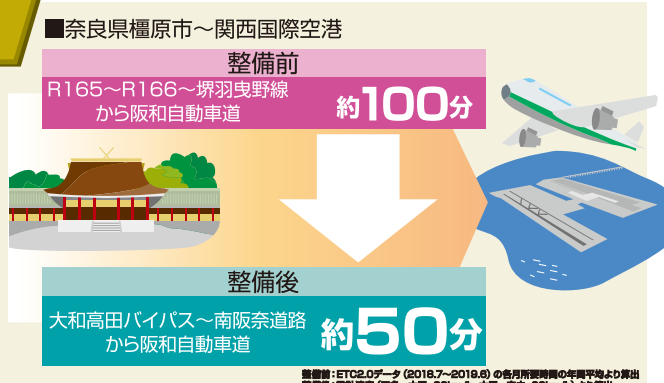


整備効果 1 橿原市～大阪方面間の主要ルートとして東西のアクセス性が向上します。

大和高田バイパスは南阪奈道路に連絡し、大阪と奈良を結ぶ東西交通の大動脈として、関西国際空港等へのアクセスの大幅な向上など、広域的な道路ネットワークを形成します。

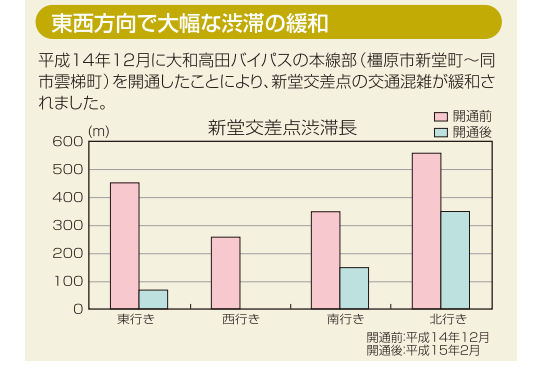


大和高田バイパスとつながった南阪奈道路(平成16年3月28日供用)



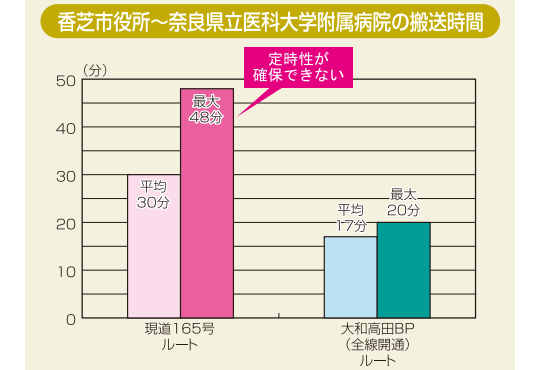
整備効果 2 市街地における所要時間の短縮、交通混雑の緩和が図られます。

大和高田バイパスの開通により、国道165号の渋滞を緩和し、所要時間の短縮が図られます。



整備効果 3 救急搬送時間が短縮され、地域医療の支援に寄与します。

一般国道165号現道区間は、信号交差点や踏切が多数存在するため、救急搬送時間の定時性が確保できない状況にあります。大和高田バイパスの整備により、バイパス周辺に位置する第三次医療施設(奈良県立医科大学附属病院)への救急搬送時間の短縮および定時性の確保が見込まれ、地域医療の支援に寄与します。



多く発見された文化財

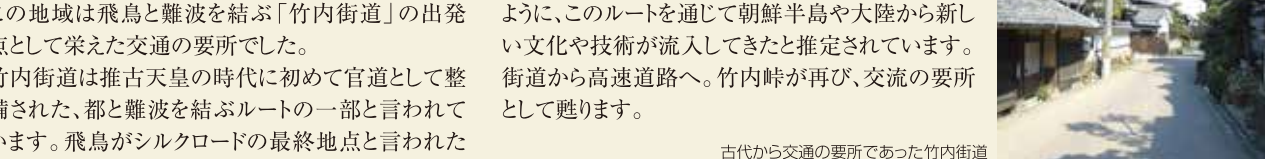
大和高田バイパスでは工事を進めるにあたり、文化財発掘調査を奈良県立橿原考古学研究所に依頼し、発掘調査・本調査を行ったうえで整備を進めてきました。

当バイパス区間では、全国初の完形品として胴に翼を差し込んだ立体型の鳥型木製品や埴輪等の出土品が多く発掘され、地域の歴史・文化を知るうえで貴重な発見となりました。



竹内峠が再び、奈良～大阪の交流の要所に

この地域は飛鳥と難波を結ぶ「竹内街道」の出发点として栄えた交通の要所でした。竹内街道は推古天皇の時代に初めて官道として整備された、都と難波を結ぶルートの一部とされています。飛鳥がシルクロードの最終地点と言われたように、このルートを通じて朝鮮半島や大陸から新しい文化や技術が流入してきたと推定されています。街道から高速道路へ。竹内峠が再び、交流の要所として甦ります。



古代から交通の要所であった竹内街道

大和高田バイパスの事業の進め方

- 1 地元説明** 道路設計に必要な路線測量の立ち入り承諾を得るため、道路の計画概要を説明します。
- 2 路線測量** 田畑、山などの地形、地盤の高さなどを測量し、設計図の元図を作成します。
- 3 設計協議** 現存する農道、水路の機能復旧計画などについて、地元の方々で協議します。
- 4 道路設計** 地元との設計協議も踏まえ、工事実施のための道路の設計を行います。
- 5 幅杭設置** 地元にて、道路に必要な幅を示すとともに、境界の立ち会いをお願いします。杭を打って道路用地を確保します。
- 6 用地測量** 用地の面積を出すための測量を行います。
- 7 用地買収** 用地の単価提示など、地権者の方々との用地交渉を行い買収します。
- 8 工事説明** 工事の進め方、安全対策などについて説明します。
- 9 工事实施** 関係法令を遵守し、工事を行います。
- 10 開通** 工事が完了すれば通行を開始します。
- 11 維持管理** 快適な走行を確保するため、道路の清掃など、適切に維持管理します。

国土交通省 近畿地方整備局 奈良国道事務所

TEL.(0742)33-1391(代表)

道路の異状を発見したら道路緊急ダイヤルへお知らせください。#9910 24時間無料受付

※道路交通法により通称中の通話は禁止されています。安全な場所に停車しておかけください。


VEGETABLE OIL LINK

ホームページで最新情報をご覧ください。奈良国道ホームページ <https://www.kkr.mlit.go.jp/nara>

165

やま と たか だ

大和高田バイパス



大阪

【馬見丘陵公園(御山古墳)】

【葛城寺】

【今井町】

奈良

【磯原神社】

【明日香村】

関西国際空港

Yamatotakada Bypass

国土交通省 近畿地方整備局 奈良国道事務所

Yamatotakada Bypass

関西経済圏への連絡強化と交通混雑の緩和を。

大和高田バイパスは、地域高規格道路である南阪奈道路の一部を構成し、奈良中南部と大阪経済圏の連結の強化や関西国際空港へのアクセスの強化を図るとともに葛城市、大和高田市及び橿原市街地等における現国道の交通混雑の緩和を図るために計画された香芝市穴虫から橿原市四条町に至る道路です。



計画諸元		
大和高田バイパス		
路線名	国道165号	国道24号・国道165号
区間(起点)	奈良県香芝市穴虫	奈良県葛城市太田
区間(終点)	奈良県葛城市太田	奈良県橿原市四条町
道路規格	第4種第1級	第3種第1級
標準幅員	20.0m	17.0m
設計速度	60km/h	80km/h
車線数	2車線	4車線
車線幅員	3.25m	3.50m
最小曲線半径	300m	800m
最急縦断勾配	6.0%	3.3%
		7.0%

事業の経緯		主な内容
年度		主な内容
昭和43年	事業化	
47年	都市計画決定	
54年	県道大和高田御所線～葛城川間380m [2/4車線供用]	
55年	主要地方道橿原高取線～R24号間2440m [2/4車線供用]	
57年	市道曲川常門線～主要地方道橿原高取線470m [側道2/2車線供用]	
61年	都市計画変更	
63年	市道曲川常門線～県道見瀬五井線間1190m [側道2/2車線供用] 當麻町加守～同町染野間1550m [2/2車線供用]	
平成元年	大和高田市曾大根～橿原市新堂町間1620m [4/4車線供用]	
3年	都市計画変更 當麻町染野間580m [2/2車線供用] 新庄町東室方先342m [側道2/2車線供用]	
5年	當麻町今在家間95m [2/2車線供用]	
7年	香芝市穴虫～當麻町加守間2110m [2/2車線供用] 當麻町當麻元當麻地方先322m [2/2車線供用] 當麻町太田～新庄町東室1658m [側道2/2車線供用] 新庄町北道穂～大和高田市曾大根間1305m [4/4車線供用]	
9年	都市計画変更	
12年	新庄町弁之庄～新庄町北道穂800m [4/4車線供用 (一部2/4車線)]	
14年	橿原市新堂町～橿原市雲梯町1380m [4/4車線供用] 橿原市寺田町～橿原市四条町1100m [側道2/2車線供用]	
15年	橿原市雲梯町～橿原市四条町1815m [4/4車線供用]	

